

【施策評価調査】

施策名	5-4-1	住民参画による文化イベントの運営		122	高根沢町の文化・芸術を振興、発展に向け、文化活動参加機会の充実、優れた文化芸術鑑賞機会の提供、伝統芸能指導体制の強化などに積極的に取り組みます。その方法として、住民が主体性を発揮し、住民参画によるイベントを行うことにより、町民相互の触れ合いと、文化・芸術を身近に感じられる町づくりにつながり、町の活性化を図ることにつなげていきます。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	教育部 生涯学習課	担当	社会教育担当		
		リーダー	横塚恵子		
環境変化	特になし				自主的に開催する文化・芸術団体を育成するとともに、住民参画による文化イベントの充実を図ります。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：町民ホール利用率(%)	平成16年度	計画	54%	55%	56%	58%	60%
	52%	実績	52.29%	61%	78%		
指標：町民ホール自主事業の参加人数【新規指標】	平成18年度	計画		2,000人	2,500人	2,700人	2,800人
	3,689人	実績		2,364人	2,938		
指標：		計画					
指標：		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	5,574,000	5,881,000	6,079,000	2,458,000	
	決算	4,427,446	5,205,722	5,183,099		

事務事業事前評価 22年度の組立て

施策傘下事務事業	事業費	活動指標(アウトプット)	事業の実施によって、施策達成にどう貢献しますか？(アウトカム)			
町民ホール事業費	H21 現計 2,458,000	ホール自主事業入場者数	優れた芸術作品を町民へ提供することにより、町文化の向上を図ります。また、町民ホールを利用した、様々なイベントが行われることによる町の活性化を図ります。		今後の方向性(総合評価)	条件付継続
	H22 計画 2,450,000					
	H21 現計				今後の方向性(総合評価)	
	H22 計画				今後の方向性(総合評価)	
	H21 現計				今後の方向性(総合評価)	
	H22 計画				今後の方向性(総合評価)	
	H21 現計				今後の方向性(総合評価)	
	H22 計画				今後の方向性(総合評価)	

施策事前評価 22年度の組立て

自己評価	後期計画に向けた施策展開のビジョン		H22年度の狙い
	今後の方向性	町は、町民ホール自主事業運営委員会の協力をもらい、町のコンセプトを重視し、ネームレビューより実力のある方の公演を招致し、限られた財源の中で、町民ニーズに応じた文化芸術作品を提供していきます。また宝くじ公演、文化財団からの助成金・補助事業等の活用が図れるよう、早めに情報を収集していきます。	
現状水準維持			
総合評価	後期計画に向け、住民が行うこと、町が行うことの役割分担を行い、運営に関してもルールづくりを行うなど、施策展開の整理・検討を行うこと。		